



この度、天童市選挙区において市民の皆様からご支援を頂き、3度目の当選をさせていただきました。これからも安心安全な市民生活を第一に、頑張っております。

もりや仙一郎便り

県政報告 Vol.55

山形—天童線 延長へ



▲成生地内

県道整備は土地利用計画を見据え 市内環状線を充実

天童

市民の皆さまから私たちが議員に対して要望をいただく中で一番多いものが道路に関する整備要望です。整備に入る過程は2パターンあり、「危険だから安全にしてほしい」といった意見を頂いてから行政に働きかけるパターンと、私たちが地域に合った土地利用計画を立て、行政と一緒にマスタープランを立てる手法です。

現在、天童市で整備中の県道は、まさに後者の手法で将来の土地利用計画を立てながら市内各所で進行しています。また、主要地方道・山形天童線(通称西側25メートル南北線)は山形県中期計画道路に位置づけられており、今年度は施工後に交通調査などを行って、国に対して補助申請を行います。事業区間はおよそ2キロ。ほか、お寄せいただき



▲蔵増地内

蔵増バイパス工事継続中

沿線自治体の温度差なくせ

高規格化 組織する「48号線道路改



▲スノーシェッド工事中の国道48号線 (ことし1月)

高規格道路は一般国道と高速道路の間のようなイメージで、信号がなくスピード(時速60〜80キロ)も出せることから目的地までの移動時間が短縮できる特徴があります。高規格化について山形

良整備促進協議会」で国知事や市長の出席に対して、宮城県は事務方のみで行ったところ、高規格化への要望は、具体的どのような道路にしたいのか要望書に記述すべき」とし、仙台、天童、東根の3市で望んだ際も、我が県側は

「いずれまた(雪崩が)起こるだろう」と作並温泉旅館組合の岩松広行組合長。「雪質が10年前と違つ。人身事故が起きていないのは不幸中の幸い」と話す。宮城県の西

国道48号

仙台市と東根、天童市を結ぶ全長81.6キロの国道48号線。この道路は山形県と宮城県を結ぶ大変重要な幹線道路であり、東日本大震災時には、「命の道」として大きな役割を担いました。しかし、2シーズン連続でほぼ同じ場所ですり崩れが発生。数日間の通行止めを余儀なくされました。有事の際もスムーズな災害復旧支援ルートの確立につながるためにも、災害に強い高規格化を求める声が強くなっています。



▲岩松組合長 (鷹泉閣 岩松旅館代表取締役)

部は人口も少なく、開発が止まっているとのこと。「西部への関心が薄い。観光も市内への誘客で満足しているようだ。また、48号線を「震災時にどれだけ役に立ったのか私たちが一番理解している。48号線への山形の熱意は十分に伝わっている。宮城県側でも仙台市でシンポジウムを催すなど今後が課題」として

間とコストを要します。そのため急務の対策は、雪崩が発生した箇所を含む県境部12キロの区間の整備です。同区間は雨量も多く、これまで大雨などによる事前通行止めが13回も起こっているようです。この区間の整備は仙台市側にあります。山形県としては県と沿線の市が統一の要望事項で訴える運動を展開していかねばなりません。岩松組合長からも「仙台での運動やシンポジウムなどあれば応援したい」と力強い言葉もいただきました。

「山形県側の努力に感謝」 作並温泉 岩松組合長

48号線の整備事業につきましては「強靱な道路」として月定例会で訴えたいところです。このように、地方側から起り、都市部は整備が後手。現状を知ってもらうためにも積極的な行動を行っています。

もりや仙一郎事務所

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログでこうして欲しい! ココが問題! 改善して欲しい...など 頂けると幸いです。

☎023-651-5539 FAX023-651-5549

〒994-0013 天童市老野森 3丁目 4-17

もりや仙一郎

検索

ホームページ <http://www.10016.jp/>

facebook 友達登録をお願い致します。 QRコードでアクセス

